いわき市の経済・景気の動き

TRAIL

経済・景気動向調査報告「トレイル」
第63号　平成30年12月28日発行

いわき市産業振興部

全国:“緩やかな回復基調”が持続！
ただし一部の、“足踏み感”も！

いわき市:“停滞感”から抜けきれず！
一部に弱含みも！

“経済・景気四方山話”:
身近な視点で見る“今後の成長戦略”

【キーワード】Society 5.5、データ駆動型社会、リアルデータ、ビッグデータ、ブロックチェーン、SDGs

■　全国動向

11月の「月例経済報告」（内閣府）における景気全体の総合的な判断は　“緩やかに回復している”と、11か月連続で据え置いた。ただし、減少傾向にあった貿易・サービス収支の黒字は、原油価格の上昇等から2か月振りに赤字に転じている。また、国の経済活動の指標である第3四半期のGDP（速報値。内閣府）は、西日本豪雨、台風21号、北海道地震と大規模停電等の災害及び野菜価格の高騰等の影響から、実質値で▲3.3%減（年率▲1.2%）と2四半期振りにマイナス成長となった。

先行きは、GDPは持ち直すとの見解が多いものの、一部に足踏み感もあり貿易摩擦の先鋭化、原油市場の混乱等から楽観視できない。

なお、10月の景気ウォッチャー調査（内閣府）は、現状は、今夏の災害の薄れから飲食・サービスを中心に上向いたが、先行きはガソリン等の値上がり懸念等から、2カ月連続で下回っている。

■　いわき市の動向

一部には弱含みが見られるものの、全体としては、前期からの“停滞感”が続いている。

●　経済･景気調査

需要関係では、大型店等販売額は前期比0.7%の微減(※)、新設住宅着工は4半期連続で前期比2桁減、観光は2四半期ぶりに新設住宅は4四半期連続で2桁減が続き、弱含んでいる。

企業動向のうち生産活動は、中小企業製造業DIが1.3ﾎﾟｲ改善した。企業活動では、法人市民税は微増、中央市場取扱高と輸入通関はこじっかりしている。なお、企業倒産件・負債総額は微増減が反復していて傾向値となっていない。

雇用は、今期、有効求人倍率が8カ月連続で微増している。なお、これが景気上向きの結果なのか、人手不足の影響なのかは明確でない。

※現データ上は微減となっているが、近年の消費者の購買動向や、新たに開店した店舗等の影響を加味すれば概ね堅調である。

●　景気ウォッチャー調査

現状判断DIは、全体で35.2ﾎﾟｲと、前期比4.1ﾎﾟｲ減であった。これは今夏の度重なる諸災害の影響が家計に反映したことが大きい（うちサービスの8.3ﾎﾟｲは､偶々発生した母集団の歪みによる)。企業と雇用はともに上昇している。

先行き判断DIは、家計と企業は上昇、雇用は横ばいとなっており、若干の上向きが予測されている。部門別の動きなどの詳細は下表参照。

いわき市景気ウォッチャー調査（簡略表）

現状判断DI			先行判断DI		
区分	今回	前回差	区分	今回	前回差
全業種	35.2	-4.1	全業種	43.5	3.3
家計	32.3	-7.0	家計	42.1	3.5
小売	33.3	-6.3	小売	42.3	4.8
飲食	8.3	-41.7	飲食	41.7	4.2
サービス	35.7	-2.6	サービス	41.1	1.1
住宅	33.3	-8.4	住宅	41.7	0.0
企業	41.7	4.2	企業	52.8	5.3
雇用	50.0	12.5	雇用	37.5	0.0

（産業創出課）

目　次

■ 経済･景気四方話:
身近な視点で見る“今後の成長戦略”

国の計画・政策等は、とかく地域住民に関心が持たれない。だが、こうしたマクロのものごとは、いずれわれわれの日常に影響を与えるので、大まかにでも知っておいた方が良い。このような主旨を本誌第 58 号（平成 29 年 9 月 29 日）で主張したが、今般、格好のテーマが出てきた。

さる 6 月、“アベノミクス”の“第 3 の矢”である成長戦略見直しの一環で、「未来投資戦略 2018」（副題：“Society 5.0[*1]”“データ駆動型社会[*2]への変革”）が閣議決定された。これを受け、10 月の投資未来会議では、具体化に向けた“方向性”が示された。これらに関する報道は、現内閣が標榜する“全世代型社会保障改革”に引っ張られて雇用面だけが強調され、国民生活全般に関する報道が少なかった。

本誌で、同戦略の全体を紹介することはできないが、表にまとめたり脚注を付したりして、概要を出来るだけ分かりやすく解説する。

[*1] “狩猟社会”、“農耕時代”、“工業社会”、“情報社会”に続く、“高知能社会”をいう。

[*2] かつて国力は、ヒト・モノ・カネで決まったが、今は IoT や SNS で集められる個人･企業に関する実体的なデータ(リアルデータという)の巨大な集積（ビッグデータという）を、AI（人工頭脳）で社会的課題を解決して生まれる付加価値が左右する。この状況を“データ駆動型社会”という。

表１　分野別基本的視座

A「生活」「産業」が変わる：	
①移動・物流革命による人手不足・移動弱者の解消	自動化が進展（自動運転、自動翻訳等）
②地理的・時間的制約の克服	交通が不便でも最適な医療・教育の享受可能
B：経済活動の「糧」が変わる：	
①ブロックチェーン[*4]等の技術革新で国際競争力が強化	エネルギー、金融分野の国際的優位確保
②良質な“リアルデータ”で新たな付加価値が生まれる	個人対応の健康管理・介護、各種商品の実現
C：「行政」「インフラ」が変わる：	
① アナログ行政から決別	手続きの簡素化等
② インフラ管理コスト低下	インフラの質的改善
D「地域」「コミュニティ」「中小企業」が変わる：	
① 高齢者等に対する利便性の向上	自動走行、オンライン医療、IoT見守りが普及
② 上記①と相俟って地域のおける活力が高まる	多言語音声翻訳装置等でインバウンドの増加
③地域発のイノベーションで高付加価値の雇用が生まれる	世界中の知識集約型企業や研究機関との連携
E 「人材」が変わる：	
①やりがいがあり、より望ましい仕事が選択できる	AIロボットが3K・単純労働を肩代わり
② ライフステージに応じた働き方が実現	テレワーク、クラウドソーシング等の普及

（注）「未来投資戦略2018」から作成（一部筆者意訳）。

【どんな考え方で策定するのか】

世界がデータ・人材の争奪戦を行っている中で日本は、人口減少、少子高齢化、エネルギー・環境制約等の課題を抱えている。

これを日本の強みである技術・研究力、人材、リアルデータ、資金を使って第 4 次産業革命[*3]を成し遂げ、“Society 5.0”を実現させる。

[*3] 18 世紀の産業革命以降の 4 番目の産業革命をいう。ロボット工学、人工知能、生物工学、自動運転等の新しい技術革新による産業の変革とそれに伴う社会の構造の変革をいう。

【どの分野で、何がどのように変わるか】

第 4 次産業革命による技術革新で、表 1 の A から E の 5 分野で様々な変化が起る(一部筆者意訳)。

[*4] （表 1 の B①）ブロックチェーンは、複数のコンピューターで取引の記録を互いに共有し、検証し合いながら正しい記録を鎖のようにつないで蓄積する仕組み。記録を共有し検証し合うので、記録改ざんや不正取引が防げる。

【どのような分野について検討するのか】

検討にあたって、表 2 の A の技術革新関係、B の雇用関係及び C の地域関係といった 3 つの柱が建てられている（一部筆者意訳)。

[*5] （表 2 の A）SDGs は“持続可能な開発 2030 アジェンダ”（Sustainable Development Goals）は、2030 年までの国際開発目標。わが国も国家戦略として先駆的に実現させることになっている。

表2　成長戦略の方向性の3つの柱

A　SDGs[*5]に向けたSociety5.0の実現	
第4次産業革命による技術を取り込み、①労働生産性の向上を図る、②国民一人ひとりの生活を豊かにする。	
(例)	AIロボットの労働力化、簡便な決済システム、リアルタイム信用情報の活用、ビッグデータ活用による国民生活の充実
B：全世代型社会保障への改革	
①意欲ある高齢者に働く場を準備する。②労働移動の円滑化を図る。③人生百年時代をさらに進める。	
(例)	中途採用の拡大、65歳以上へ継続雇用、寿命を健康寿命との差縮小、現役継続の仕組み、オンライン医療の推進
C：地方施策の強化	
①地方基盤企業の統合・強化・生産性向上、②地方中枢・中核都市の機能強化、③農林水産業・観光業の成長産業化、④人口急激地域の活性化、⑤モビリティの確保	
(例)	UIJターン対策の推進、外国人労働者の活用、テレワークの推進、自家用車の有償運転、タクシーの相乗り解禁、

（注）「成長戦略の方向性」から作成（一部筆者意訳）。

今後、年末までに公表される中間報告を経て、来年の夏までに、実現に向けた 3 年間の工程表と実行計画が決定されることとされている。

“Society 5.0”の中で、最も興味ある分野をフォローし、「自分の身の回りがどう変わっているか」を探ってみることをお勧めする。

（東日本国際大学名誉教授　大川信行）

Ⅰ　経済・景気調査：平成30年第Ⅲ四半期（7～9月）

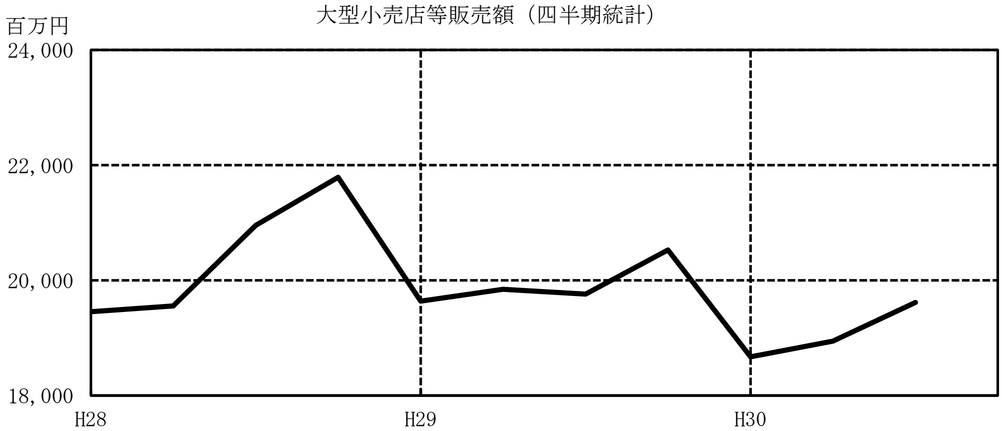
1　いわき市の経済の動き

（1）　主要部門の動向（平成30年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

① 需要動向

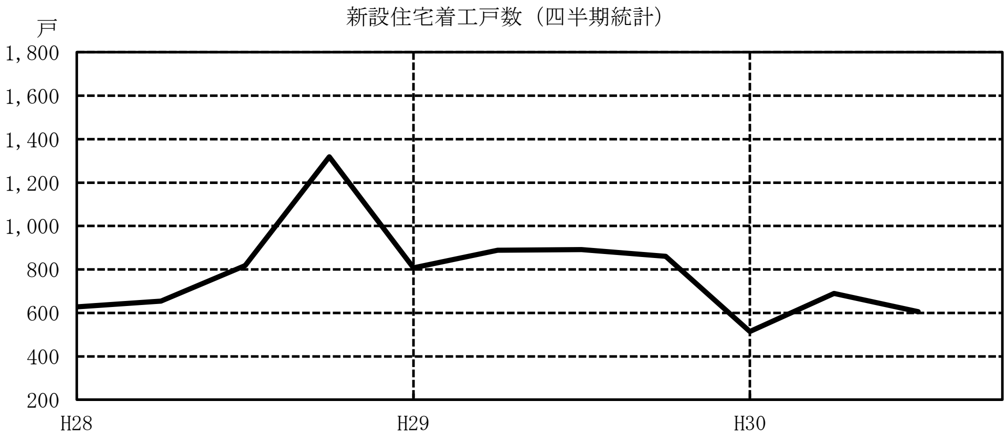
【個人消費】 ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の大型小売店等販売額は約196億円（前年同期比0.7%の減少）となり、5半期連続で前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は4,734台（前年同期比2.4%の減少）となり、4四半期連続で前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は606戸（前年同期比32.1%の減少）となり、4四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 9月の中小企業DI調査の建設業DIは-66.7となり、前回（6月 -44.5）より22.2ポイント悪化した（0が横ばいの水準）。



【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、131.3（前年同期比5.7%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。

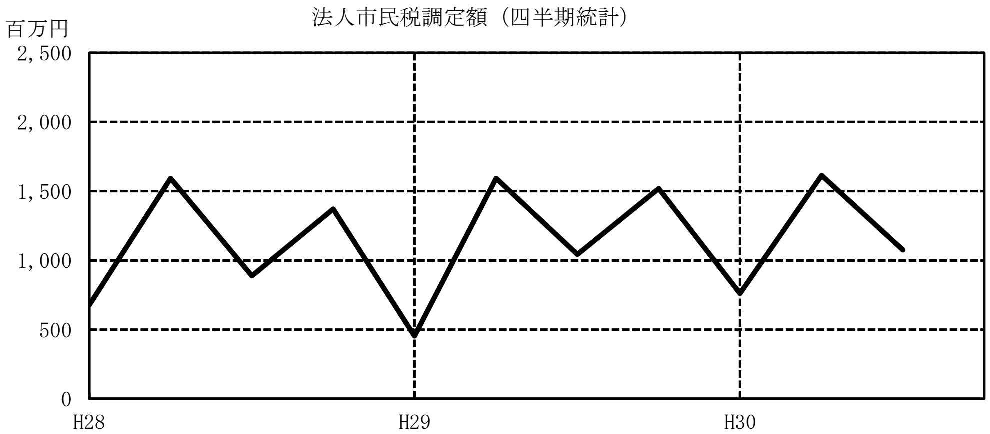
② 企業動向

【生産活動】 ○ 9月の中小企業DI調査の製造業DIは-12.1となり、前回（6月 -13.4）より1.3ポイント改善した。

【企業活動】 ○ 法人市民税調定額は約10.8億円（前年同期比3.1%の増加）となり、6四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の負債1千万円以上の企業倒産件数は4件となり、2四半期連続で前年の水準を上回った（悪化した）。

○ 9月の中小企業DI調査の総合DIは-26.1となり、前回（6月 -23.2）より2.9ポイント悪化した。

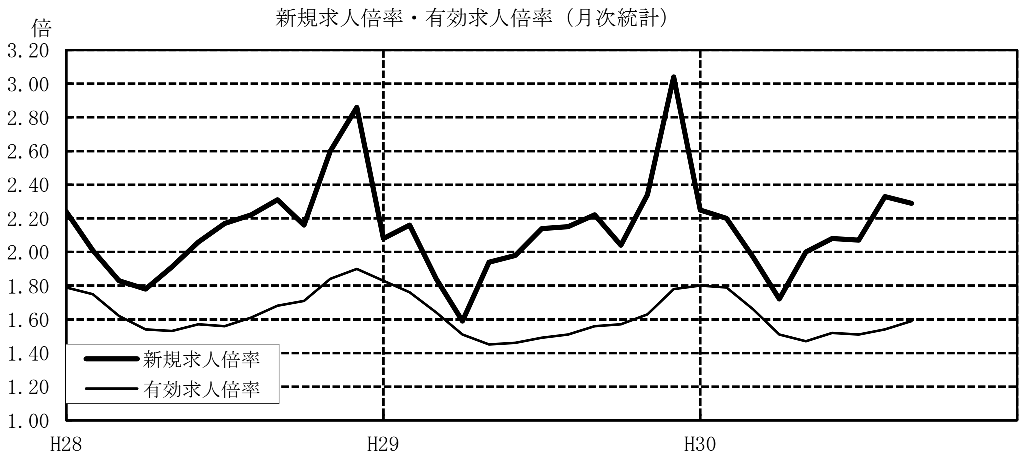


③ 雇用情勢

【雇　用】 ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の雇用保険受給者実人員は3,520人（前年同期比10.0%の減少(=改善)）となり3四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。

○ 9月の新規求人倍率は2.29倍（前年同月より0.07ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。

○ 9月の有効求人倍率は1.59倍（前年同月より0.03ポイントの上昇）となり、8ヵ月連続で前年の水準を上回った。



（２）主要経済データ

区　分 年　月	需要動向 個人消費 大型小売店等販売額 （百万円）	前年同期比 （%）	自動車新規登録台数 （台）	前年同期比 （%）	建設需要 新設住宅着工戸数 （戸）	前年同期比 （%）	建築確認申請受付件数 （件）	前年同期比 （%）	公共工事等受注額 （百万円）	前年同期比 （%）	観光需要 観光施設利用者指数 (H24・四半期平均＝100)	前年同期比 （p）	入湯税調定人員 （人）	前年同期比 （%）
【年次統計】														
平成25年	76,307	0.2	24,954	-2.7	4,608	44.4	2,215	11.8	52,580	83.3	425	6.2	726,877	21.8
26年	77,812	2.0	24,181	-3.1	3,933	-14.6	1,836	-17.1	49,244	-6.3	421	-0.8	752,762	3.6
27年	79,769	2.5	20,971	-13.3	3,042	-22.7	1,751	-4.6	48,365	-1.8	427	1.3	763,136	1.4
28年	81,763	2.5	20,034	-4.5	3,420	12.4	1,559	-11.0	49,098	1.5	398	-6.8	706,408	-7.4
29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.1	696,264	-1.4
【四半期統計】														
平成28年　Ⅳ	21,791	4.0	4,626	-7.7	1,319	72.4	371	-16.8	21,689	107.0	91.5	-3.9	193,707	-0.1
平成29年　Ⅰ	19,643	1.0	6,501	5.2	807	28.5	320	-10.9	9,198	34.2	86.0	3.9	172,713	-0.7
Ⅱ	19,846	1.5	4,843	8.8	889	35.7	346	-18.8	3,982	-39.8	86.3	-1.8	157,798	-0.4
Ⅲ	19,766	-5.7	4,849	1.5	892	9.0	421	4.5	9,057	-35.1	139.2	2.5	185,412	2.9
Ⅳ	20,530	-5.8	4,488	-3.0	860	-34.8	380	2.4	20,590	-5.1	86.7	-5.2	180,341	-6.9
平成30年　Ⅰ	18,675	-4.9	6,212	-4.4	515	-36.2	335	4.7	4,685	-49.1	84.4	-1.8	165,132	-4.4
Ⅱ	18,946	-4.5	4,569	-5.7	690	-22.4	338	-2.3	2,554	-35.9	88.0	1.9	163,733	3.8
Ⅲ	19,619	-0.7	4,734	-2.4	606	-32.1	322	-23.5	7,140	-21.2	131.3	-5.7	182,631	-1.5
【月次統計】														
平成28年10月	6,938	5.2	1,541	-9.0	585	178.6	125	-20.4	7,102	79.7	30.5	-0.7	74,458	19.9
11月	6,582	5.4	1,596	-12.9	418	75.6	120	-17.8	7,957	197.1	30.4	-5.8	58,173	-16.4
12月	8,271	1.8	1,489	0.2	316	-0.3	126	-11.9	6,630	72.3	30.6	-5.0	61,076	-1.8
平成29年1月	6,631	2.3	1,799	6.4	294	57.2	93	-19.1	3,762	172.1	26.2	0.5	59,683	-4.6
2月	6,099	-2.0	1,982	2.3	243	-21.4	112	-5.9	1,838	-12.6	25.5	2.9	53,481	-7.4
3月	6,913	2.3	2,720	6.5	270	104.5	115	-8.0	3,598	6.9	34.3	7.5	59,549	10.9
4月	6,553	2.1	1,435	4.2	451	88.7	109	-16.2	974	-59.8	25.0	1.8	58,797	-0.6
5月	6,764	1.6	1,480	7.8	234	-20.1	93	-29.5	1,060	13.2	32.5	-5.9	51,106	1.1
6月	6,529	0.7	1,928	13.4	204	65.9	144	-12.2	1,948	-40.1	28.8	-0.1	47,895	-1.7
7月	6,760	-4.7	1,579	-3.7	271	-27.0	122	-15.9	2,230	-73.6	35.4	1.1	52,658	3.2
8月	6,828	-7.2	1,388	6.9	298	-13.9	147	7.3	1,878	-23.4	67.0	3.7	58,843	3.4
9月	6,178	-5.1	1,882	2.3	323	219.8	152	25.6	4,949	62.9	36.9	1.5	73,911	2.2
10月	6,436	-7.2	1,464	-5.0	354	-39.5	144	15.2	10,689	50.5	24.3	-20.2	58,881	-20.9
11月	6,136	-6.8	1,563	-2.1	318	-23.9	114	-5.0	2,369	-70.2	31.6	4.0	59,894	3.0
12月	7,958	-3.8	1,461	-1.9	188	-40.5	122	-3.2	7,532	13.6	30.8	0.6	61,566	0.8
平成30年1月	6,268	-5.5	1,717	-4.6	227	-22.8	99	6.5	1,632	-56.6	25.1	-4.2	53,785	-9.9
2月	5,833	-4.4	1,897	-4.3	155	-36.2	111	-0.9	441	-76.0	24.1	-5.4	47,025	-12.1
3月	6,574	-4.9	2,598	-4.5	133	-50.7	125	8.7	2,612	-27.4	35.2	2.6	64,322	8.0
4月	6,264	-4.4	1,458	1.6	335	-25.7	105	-3.7	1,088	11.7	28.1	12.1	57,826	-1.7
5月	6,407	-5.3	1,453	-1.8	192	-17.9	97	4.3	517	-51.2	32.5	-0.1	58,769	15.0
6月	6,275	-3.9	1,658	-14.0	163	-20.1	136	-5.6	949	-51.3	27.9	-3.1	47,138	-1.6
7月	6,611	-2.2	1,585	0.4	283	4.4	114	-6.6	1,498	-32.8	34.2	-3.3	49,328	-6.3
8月	6,791	-0.5	1,337	-3.7	233	-21.8	100	-32.0	1,444	-23.1	61.5	-8.2	53,442	-9.2
9月	6,217	0.6	1,812	-3.7	90	-72.1	108	-28.9	4,198	-15.2	35.6	-3.3	79,861	8.1
出典：	いわき市産業創出課		いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部		いわき市産業創出課（市内主要観光施設の利用者数を指数化）		いわき市市民税課	

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区分	企業動向											
	生産活動				企業活動							
年月	いわき市中央卸売市場取扱高 (百万円)	前年同期比 (%)	小名浜港輸入通関実績 (百万円)	前年同期比 (%)	いわき市中小企業融資残高 (百万円)	前年同期比 (%)	いわき市中小企業融資利率 (%)	前年同月比 (%p)	信用保証承諾額 (百万円)	前年同期比 (%)	信用保証協会代位弁済 (百万円)	前年同期比 (%)
【年次統計】												
平成25年	28,610	1.5	345,674	0.5	−	−	−	−	15,359	−10.1	815	102.8
26年	29,534	3.2	369,427	6.9	15,359	−	−	−	17,797	15.9	369	−54.8
27年	30,332	2.7	302,516	−18.1	17,146	11.6	−	−	18,390	3.3	378	2.5
28年	30,650	1.0	224,693	−25.7	14,822	−13.6	−	−	17,079	−7.1	608	60.9
29年	29,488	−3.8	319,842	42.3	14,479	−2.3	−	−	15,790	−7.5	496	−18.5
【四半期統計】												
平成28年 Ⅳ	8,390	8.3	65,082	26.3	3,713	−5.5	−	−	4,281	−12.3	77	930.8
平成29年 Ⅰ	6,996	−0.3	66,713	28.7	3,693	−2.7	−	−	3,765	−32.4	33	−87.8
Ⅱ	6,782	−8.5	89,452	52.0	3,627	−1.7	−	−	3,535	−0.6	249	47.4
Ⅲ	7,695	−1.7	74,930	53.2	3,649	0.7	−	−	3,982	8.4	209	127.8
Ⅳ	8,016	−4.5	88,747	36.4	3,511	−5.5	−	−	4,509	5.3	5	−93.3
平成30年 Ⅰ	6,810	−2.7	106,037	58.9	3,518	−4.7	−	−	4,742	26.0	84	156.8
Ⅱ	7,123	5.0	95,339	6.6	3,462	−4.6	−	−	4,472	26.5	182	−26.8
Ⅲ	7,912	2.8	89,339	19.2	3,333	−8.7	−	−	4,423	11.1	40	−80.6
【月次統計】												
平成28年10月	2,510	2.3	22,510	14.1	1,213	−8.8	1.95	0.21	1,209	−20.4	8	59.8
11月	2,491	16.7	17,279	29.9	1,245	−4.7	2.20	0.25	1,199	−19.8	61	−
12月	3,389	7.3	25,293	36.8	1,256	−2.9	1.92	−0.28	1,873	0.3	9	218.5
平成29年1月	2,105	2.0	20,456	11.0	1,244	−1.4	2.20	0.28	686	−59.9	0	−100.0
2月	2,306	−0.9	17,225	−18.7	1,215	0.1	2.20	0.00	1,231	−26.2	2	−98.6
3月	2,585	−1.6	29,032	137.6	1,234	−6.4	2.09	−0.11	1,848	−15.6	30	−68.4
4月	2,465	2.1	27,096	17.6	1,219	−1.4	1.95	−0.14	827	−11.8	0	−
5月	2,441	2.2	28,744	68.0	1,196	−1.1	1.20	−0.75	867	−34.1	2	−84.5
6月	1,876	−28.1	33,612	79.5	1,213	−2.6	2.03	0.83	1,840	41.3	246	60.0
7月	2,430	−5.8	25,281	25.9	1,232	0.4	2.02	−0.01	1,194	1.2	4	−92.9
8月	2,740	−1.8	26,968	180.6	1,215	1.4	2.10	0.08	1,003	−4.0	100	278.4
9月	2,525	2.7	22,681	17.9	1,202	0.1	1.73	−0.38	1,785	23.1	104	3,649.4
10月	2,186	−12.9	27,815	23.6	1,175	−3.1	1.73	0.00	1,466	21.2	1	−87.5
11月	2,361	−5.2	25,511	47.6	1,167	−6.3	1.86	0.14	1,279	6.7	0	−100.0
12月	3,469	2.3	35,421	40.0	1,168	−7.0	2.16	0.30	1,764	−5.8	4	−51.2
平成30年1月	2,097	−0.4	39,565	93.4	1,173	−5.7	2.10	−0.06	1,203	75.3	1	−
2月	2,276	−1.3	34,142	98.2	1,166	−4.1	2.20	0.10	1,501	21.9	18	610.8
3月	2,437	−5.7	32,330	11.4	1,180	−4.4	1.94	−0.26	2,038	10.3	66	117.3
4月	2,185	−11.3	30,756	13.5	1,163	−4.6	2.20	0.26	1,384	67.2	143	−
5月	2,448	0.3	39,790	38.4	1,160	−3.0	2.20	0.00	1,631	88.1	0	−100.0
6月	2,489	32.7	24,793	−26.2	1,139	−6.1	2.20	0.00	1,457	−20.8	38	−84.4
7月	2,558	5.3	32,718	29.4	1,128	−8.5	1.78	−0.43	1,569	31.4	0	−100.0
8月	2,896	5.7	20,067	−25.6	1,114	−8.3	1.78	0.00	1,458	45.4	3	−97.4
9月	2,459	−2.6	36,554	61.2	1,091	−9.2	2.05	0.28	1,396	−21.8	38	−63.7
出典：	いわき市中央卸売市場（青果・水産）		横浜税関		いわき市産業創出課（月次平均金利。年・四半期金利は月次金利の単純平均）				福島県信用保証協会			

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区　分	企業動向						雇用						その他	
	企業活動		倒産											
	法人市民税調定額	前年同期比	企業倒産件数	前年同期比	企業倒産負債総額	前年同期比	新規求人倍率	前年同期比	有効求人倍率	前年同期比	雇用保険受給者実人員	前年同期比	高速道路出入交通量	前年同期比
年　月	(百万円)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)
【年次統計】														
平成25年	4,516	8.1	4	-33.3	477	-64.8	1.91	0.14	1.41	0.28	17,387	-58.4	11,445	-11.4
26年	4,830	7.0	5	25.0	545	14.3	2.08	0.17	1.60	0.19	15,342	-11.8	11,636	1.7
27年	5,105	5.7	0	-100.0	0	-100.0	2.12	0.04	1.67	0.07	14,087	-8.2	12,186	4.7
28年	4,532	-11.2	8	-	7,538	-	2.14	0.02	1.67	0.00	13,934	-1.1	12,184	0.0
29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5
【四半期統計】														
平成28年　Ⅳ	1,372	-6.2	0	-	0	-	-	-	-	-	3,357	-5.2	3,109	-0.9
平成29年　Ⅰ	453	-33.2	2	0.0	1,047	365.3	-	-	-	-	3,255	0.3	2,908	-0.9
Ⅱ	1,593	0.1	2	-50.0	160	-48.9	-	-	-	-	3,547	2.1	2,964	0.8
Ⅲ	1,044	17.4	1	-50.0	95	-98.6	-	-	-	-	3,912	1.4	3,225	0.8
Ⅳ	1,520	10.8	4	-	993	-	-	-	-	-	3,359	0.1	3,020	-2.8
平成30年　Ⅰ	761	68.0	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	3,093	-5.0	2,739	-5.8
Ⅱ	1,614	1.3	5	150.0	292	82.5	-	-	-	-	3,380	-4.7	2,537	-14.4
Ⅲ	1,076	3.1	4	300.0	662	596.8	-	-	-	-	3,520	-10.0	2,531	-21.5
【月次統計】														
平成28年10月	162	-7.1	0	-	0	-	2.16	-0.09	1.71	0.04	1,180	-5.4	1,056	-0.9
11月	1,103	-5.6	0	-	0	-	2.60	0.23	1.84	0.06	1,104	-4.8	1,024	-0.9
12月	108	-10.8	0	-	0	-	2.86	0.29	1.90	0.06	1,073	-5.5	1,028	-1.1
平成29年1月	124	-3.8	0	-100.0	0	-100.0	2.08	-0.16	1.83	0.04	1,053	-5.8	947	1.1
2月	105	-59.9	0	-100.0	0	-100.0	2.16	0.15	1.76	0.01	1,081	0.4	893	-3.9
3月	224	-22.0	2	-	1,047	-	1.84	0.01	1.64	0.02	1,121	6.8	1,068	-0.2
4月	169	-2.6	0	-	0	-	1.59	-0.19	1.51	-0.03	1,056	-1.9	968	-0.8
5月	406	-2.4	0	-100.0	0	-100.0	1.94	0.03	1.45	-0.08	1,200	4.2	1,021	1.7
6月	1,018	1.6	2	-33.3	160	-47.2	1.98	-0.08	1.46	-0.11	1,291	3.7	976	1.7
7月	606	51.2	0	-	0	-	2.14	-0.03	1.49	-0.07	1,312	4.7	1,050	-0.1
8月	329	-13.2	1	-50.0	95	-98.6	2.15	-0.07	1.51	-0.10	1,347	2.7	1,160	2.5
9月	109	-0.9	0	-	0	-	2.22	-0.09	1.56	-0.12	1,253	-3.2	1,014	-0.3
10月	140	-13.1	1	-	20	-	2.04	-0.12	1.57	-0.14	1,213	2.8	999	-5.4
11月	1,274	15.5	1	-	273	-	2.34	-0.26	1.63	-0.21	1,107	0.3	1,002	-2.1
12月	106	-2.1	2	-	700	-	3.04	0.18	1.78	-0.12	1,039	-3.2	1,019	-0.9
平成30年1月	123	-1.1	0	-	0	-	2.25	0.17	1.80	-0.03	1,051	-0.2	907	-4.2
2月	170	61.6	0	-	0	-	2.20	0.04	1.79	0.03	999	-7.6	847	-5.2
3月	469	109.2	0	-100.0	0	-100.0	1.97	0.13	1.66	0.02	1,043	-7.0	985	-7.8
4月	140	-16.9	2	-	190	-	1.72	0.13	1.51	0.00	1,028	-2.7	888	-8.2
5月	420	3.5	2	-	42	-	2.00	0.06	1.47	0.02	1,203	0.2	864	-15.3
6月	1,053	3.5	1	-50.0	60	-62.5	2.08	0.10	1.52	0.06	1,149	-11.0	784	-19.6
7月	479	-20.9	1	-	193	-	2.07	-0.07	1.51	0.02	1,174	-10.5	829	-21.1
8月	497	50.9	2	100.0	420	342.1	2.33	0.18	1.54	0.03	1,233	-8.5	920	-20.7
9月	100	-8.1	1	-	49	-	2.29	0.07	1.59	0.03	1,113	-11.2	782	-22.9
出典：	いわき市市民税課(法人税割)		東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				ﾊﾛｰﾜｰｸ平（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部	

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
　　　四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区　分 年　月	その他									
	いわき市景気ｳｫｯﾁｬｰ調査（先行きＤＩ）				中小企業DI調査					
	家計動向	企業動向	雇用関連	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合（全業種）
【年次統計】										
平成25年	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
26年	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
27年	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
28年	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
29年	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
【四半期統計】										
平成28年　Ⅳ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
平成29年　Ⅰ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Ⅱ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Ⅲ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Ⅳ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
平成30年　Ⅰ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Ⅱ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Ⅲ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
【月次統計】										
平成28年10月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
11月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
12月	－	－	－	－	-16.6	-25.0	-30.8	-50.0	-11.1	-25.0
平成29年1月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3月	－	－	－	－	-21.2	-9.1	-50.0	-46.2	0.0	-24.3
4月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
5月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月	－	－	－	－	-3.0	-50.0	-41.7	-56.2	0.0	-25.0
7月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
8月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9月	－	－	－	－	3.1	-20.0	-50.0	-54.5	-14.3	-17.6
10月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
11月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
12月	－	－	－	－	7.1	-27.3	-33.3	-54.6	-20.0	-17.4
平成30年1月	41.7	40.5	46.9	41.9	－	－	－	－	－	－
2月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3月	－	－	－	－	-8.6	-55.6	-55.6	-46.2	-30.0	-29.0
4月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
5月	46.3	43.3	50.0	45.9	－	－	－	－	－	－
6月	－	－	－	－	-13.4	-44.5	-27.3	-41.6	0.0	-23.2
7月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
8月	38.6	47.5	37.5	40.2	－	－	－	－	－	－
9月	－	－	－	－	-12.1	-66.7	0.0	-41.6	-44.4	-26.1
出典：	いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				福島県産業振興ｾﾝﾀｰ(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

2　いわき市の景気の動き（景気動向指数）（平成30年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

（１）　ＣＩ（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ）

①概要

9月のCIは、先行指数が111.2、一致指数が113.2、遅行指数が111.9となった。

②指数別の動向（指数は平成22年の水準を100とする）

【先行指数】9月は111.2ポイントで、3ヵ月連続で下降した。
寄与度がプラスの指標は、建築確認申請受付件数（3ヵ月振り）、景気ウォッチャー（4ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月振り）、新設住宅着工戸数（2ヵ月連続）等の5指標であった。

【一致指数】9月は113.2ポイントで、2ヵ月振りに下降した。
寄与度がプラスの指標は、小名浜港輸入通関実績（2ヵ月振り）、大型小売店等販売額（4ヵ月連続）等の3指標、マイナスの指標は、鉱工業出荷指数（2ヵ月振り）、中小企業ＤＩ（全業種）（3ヵ月連続）等の5指標であった。

【遅行指数】9月は111.9ポイントで、4ヵ月振りに上昇した。
寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資利率（4ヵ月振り）、入湯税調定人員（2ヵ月連続）等の5指標、マイナスの指標は、法人市民税調定額（5ヵ月振り）、いわき市中央卸売市場取扱高（3ヵ月振り）等の3指標であった。

※ＣＩの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

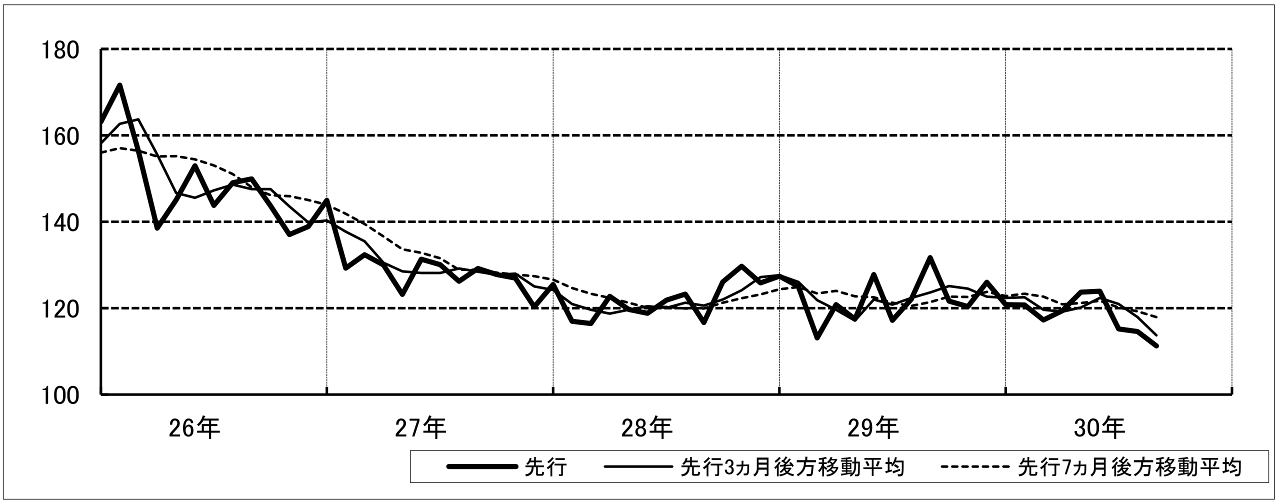
③指数の推移及び寄与度の内訳（ＣＩの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成22年＝100）

	区　分	平成29年			平成30年								
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	先　行　指　数　（Ｃ．Ｉ）	121.6	120.3	126.0	120.8	120.7	117.2	119.4	123.7	123.9	115.2	114.6	111.2
	前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）	-10.08	-1.24	5.64	-5.18	-0.06	-3.50	2.18	4.29	0.20	-8.75	-0.59	-3.32
先行系列寄与度内訳	1．自動車新規登録台数	-3.14	1.07	1.16	-1.19	0.25	-0.08	0.96	-0.84	-1.84	0.39	0.50	-0.14
	2．新設住宅着工戸数	-2.88	-0.90	-2.18	2.24	-1.65	0.79	1.01	-0.85	0.80	0.02	-0.86	-1.10
	3．建築確認申請受付件数	-2.45	-2.40	1.39	-0.50	0.65	0.24	-1.32	-1.15	2.74	-1.75	-0.72	1.49
	4．鉱工業在庫率指数（逆）	2.89	3.09	0.90	-5.06	0.42	-3.52	1.11	3.70	1.64	-3.58	1.16	-2.78
	5．新規求人倍率	-1.84	0.27	4.80	-1.75	-0.65	-0.65	0.52	-0.26	-0.82	-1.97	2.79	-0.37
	6．いわき市中小企業融資残高	-2.75	-2.51	-0.70	0.74	0.72	-0.37	-0.25	0.69	-1.86	-1.42	0.02	-0.57
	7．いわき景気ウォッチャー	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.78	-0.75	-0.61	-3.50	0.00
	8．一致指数トレンド成分	0.09	0.14	0.26	0.34	0.20	0.09	0.15	0.22	0.30	0.17	0.01	0.15
	一　致　指　数　（Ｃ．Ｉ）	120.5	120.7	128.2	124.6	124.6	118.6	121.0	124.2	122.3	118.9	119.3	113.2
	前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）	0.62	0.22	7.51	-3.57	-0.08	-5.92	2.38	3.19	-1.93	-3.42	0.44	-6.10
一致系列寄与度内訳	1．大型小売店等販売額	-0.55	0.14	0.83	-0.45	0.31	-0.13	0.13	-0.22	0.38	0.44	0.43	0.30
	2．鉱工業生産指数	-0.52	0.91	2.15	-2.23	0.01	-0.95	1.30	1.77	-2.17	-0.36	1.40	-1.39
	3．鉱工業出荷指数	1.04	1.33	1.33	-2.09	0.16	-0.74	-0.13	2.11	-2.04	-0.37	2.05	-2.04
	4．鉱工業在庫指数	1.20	-2.01	0.80	0.43	-0.73	0.94	2.01	1.07	1.66	-2.20	-2.15	-1.20
	5．小名浜港輸入通関実績	0.73	0.42	0.32	0.38	0.01	-0.24	-0.43	0.70	-0.96	0.82	-0.97	1.35
	6．有効求人倍率	-0.31	-0.98	1.89	1.25	0.72	-1.49	-0.40	-0.16	0.42	-1.16	-0.32	0.02
	7．高速道路出入交通量	-0.99	0.39	0.10	-0.87	-0.57	-1.22	-0.13	-2.10	-1.33	-0.56	0.02	-1.16
	8．中小企業ＤＩ（全業種）	0.02	0.02	0.09	0.02	0.02	-2.10	0.02	0.02	2.12	-0.03	-0.03	-1.98
	遅　行　指　数　（Ｃ．Ｉ）	109.9	113.8	118.2	112.6	111.2	114.0	111.7	113.8	111.7	110.8	110.2	111.9
	前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）	-5.85	3.95	4.32	-5.56	-1.38	2.76	-2.21	2.10	-2.13	-0.89	-0.58	1.63
遅行系列寄与度内訳	1．公共工事受注額	1.51	-2.89	0.30	-1.29	-0.89	-0.68	-0.07	-0.44	-0.70	-0.54	-0.36	-0.55
	2．入湯税調定人員	0.01	0.12	0.10	-1.08	-0.59	2.53	-1.59	1.52	-1.52	-0.15	0.06	1.22
	3．観光施設利用者指数	-2.77	2.80	-0.37	-0.55	-0.17	0.65	2.06	-2.75	0.37	0.45	-1.06	0.47
	4．法人市民税調定額	-0.58	1.03	-0.53	-0.12	-0.70	2.73	-2.77	0.78	0.20	0.04	1.53	-2.30
	5．雇用保険受給者実人員（逆）	0.10	0.51	0.26	0.46	0.27	-0.89	0.23	-2.58	2.61	0.16	-0.83	0.69
	6．いわき市中央卸売市場取扱高	-2.83	2.70	1.45	-1.76	0.11	-1.08	-1.94	2.66	-0.57	0.77	0.35	-0.76
	7．いわき市中小企業融資利率	-1.36	-0.46	2.87	-1.53	0.41	-0.59	1.73	2.70	-2.81	-1.77	-0.27	2.71
	8．一致指数トレンド成分	0.08	0.13	0.25	0.32	0.19	0.09	0.14	0.21	0.27	0.16	0.01	0.15

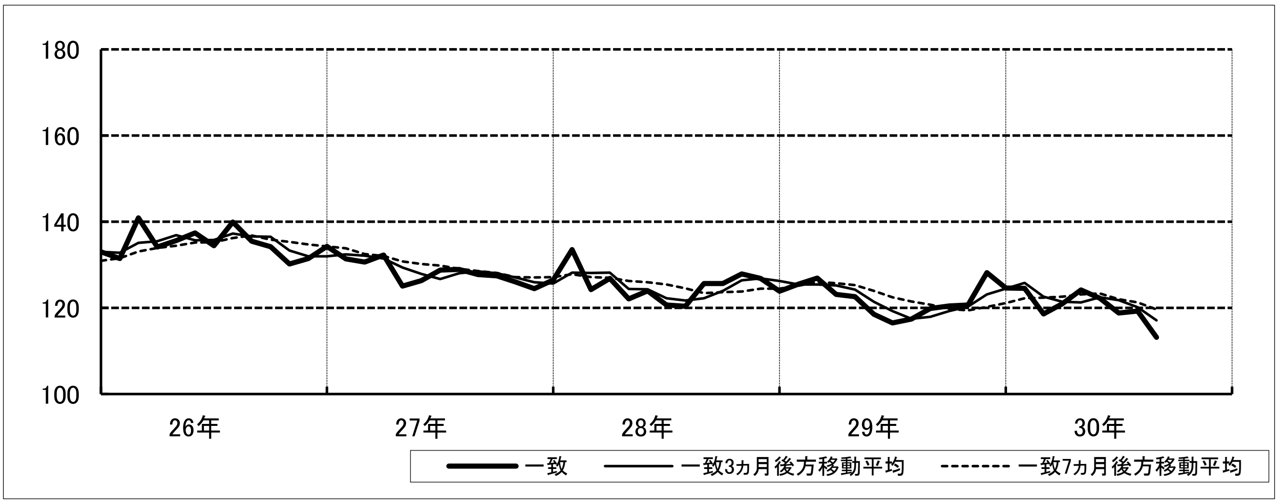
注1）ＣＩはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。
2）一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。
3）寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

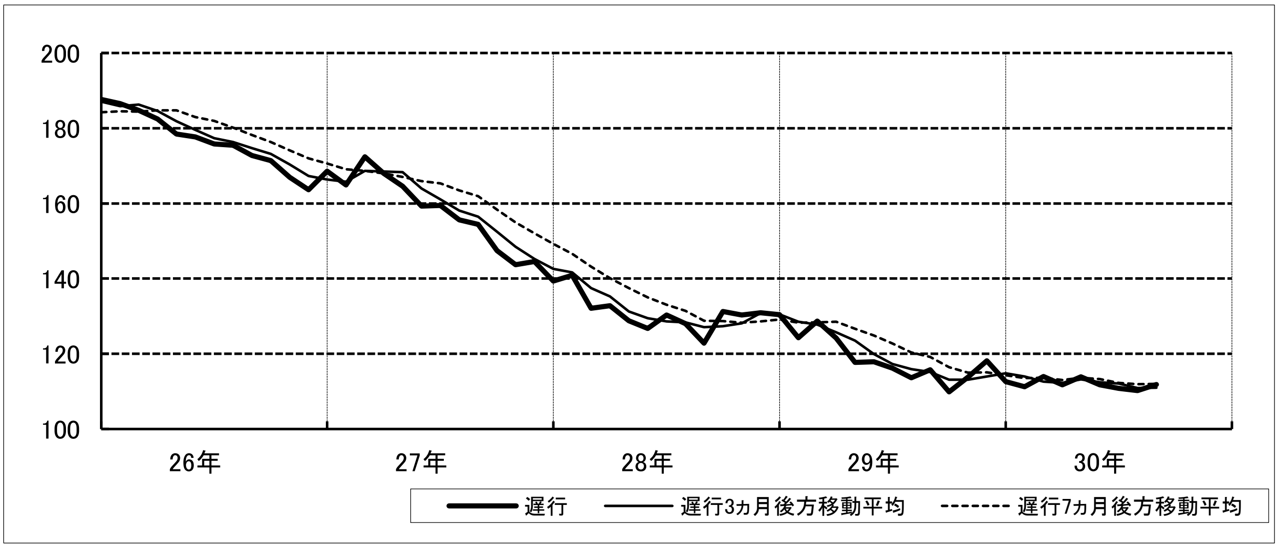
・先行指数の推移　（平成22年＝100）



・一致指数の動向　（平成22年＝100）



・遅行指数の動向　（平成22年＝100）



⑤ CIデータ

・先 行 指 数

（平成22年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
21	69.3	71.8	73.1	77.3	81.4	80.7	84.8	89.2	90.3	91.0	96.6	97.2
22	93.6	94.3	94.8	93.7	97.3	100.8	103.1	107.8	107.6	102.3	99.4	105.4
23	104.4	105.6	90.4	86.7	92.2	102.3	118.0	126.7	127.3	134.2	138.6	133.8
24	152.0	158.0	147.9	168.6	170.2	167.6	160.2	153.8	141.8	148.3	150.5	153.7
25	147.1	149.0	159.5	149.0	152.4	152.4	164.6	160.4	147.8	144.7	158.0	153.3
26	163.1	171.6	156.4	138.5	145.0	153.0	143.8	149.0	149.9	143.7	137.0	138.9
27	144.9	129.2	132.3	130.0	123.1	131.3	130.0	126.2	129.2	127.8	126.9	120.3
28	125.4	117.0	116.4	122.7	119.7	118.8	121.8	123.2	116.7	126.1	129.7	125.9
29	127.4	125.0	113.1	120.8	117.5	127.8	117.2	122.0	131.7	121.6	120.3	126.0
30	120.8	120.7	117.2	119.4	123.7	123.9	115.2	114.6	111.2			

・一 致 指 数

（平成22年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
21	92.9	87.8	85.1	84.9	85.2	88.9	86.7	86.2	90.3	88.1	87.3	91.6
22	95.7	95.8	98.1	99.0	101.1	98.7	100.6	101.2	101.0	101.7	104.0	103.1
23	105.3	104.6	94.4	96.4	101.2	106.7	113.3	109.1	116.7	118.3	115.3	120.2
24	123.0	128.5	139.8	137.9	135.5	131.2	130.1	131.6	127.7	130.1	132.0	130.8
25	128.3	130.6	135.2	132.2	129.3	125.3	126.9	129.9	128.9	131.6	132.1	134.0
26	133.0	131.4	140.9	134.1	135.6	137.4	134.4	139.9	135.4	134.2	130.2	131.5
27	134.3	131.4	130.7	132.3	125.1	126.3	128.8	128.9	127.8	127.4	126.0	124.5
28	126.5	133.5	124.2	126.9	122.1	123.9	120.7	120.4	125.7	125.7	127.9	126.9
29	123.9	125.5	126.9	123.2	122.7	118.5	116.5	117.5	119.8	120.5	120.7	128.2
30	124.6	124.6	118.6	121.0	124.2	122.3	118.9	119.3	113.2			

・遅 行 指 数

（平成22年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
21	100.5	82.9	81.1	77.8	79.8	73.9	71.2	78.2	77.3	77.8	78.0	79.3
22	85.0	87.7	91.2	100.0	101.4	102.8	101.9	104.5	110.1	107.5	103.2	104.8
23	96.2	101.7	101.9	93.4	90.3	96.1	104.9	88.3	91.1	89.2	95.7	100.9
24	107.0	118.1	127.7	135.6	152.9	152.8	158.1	164.5	172.1	182.2	183.8	192.1
25	187.0	179.2	177.3	186.1	189.3	181.1	184.9	184.9	180.4	178.4	190.1	183.3
26	187.7	186.5	184.8	182.5	178.5	177.7	175.9	175.5	172.7	171.4	166.9	163.6
27	168.6	164.9	172.4	168.0	164.6	159.3	159.4	155.6	154.4	147.4	143.7	144.6
28	139.4	140.9	132.1	132.8	128.8	126.8	130.3	128.1	122.8	131.2	130.3	130.9
29	130.4	124.3	128.7	124.2	117.8	117.9	116.2	113.7	115.7	109.9	113.8	118.2
30	112.6	111.2	114.0	111.7	113.8	111.7	110.8	110.2	111.9			

（２）　ＤＩ（ﾃﾞｨﾌｭｰｼﾞｮﾝ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ）

① 概要

【先行指数】 9月は、28.6％と4ヵ月連続で50％を下回った。

【一致指数】 9月は、37.5％と2ヵ月連続で50％を下回った。

【遅行指数】 9月は、57.1％と5ヵ月振りに50％を上回った。

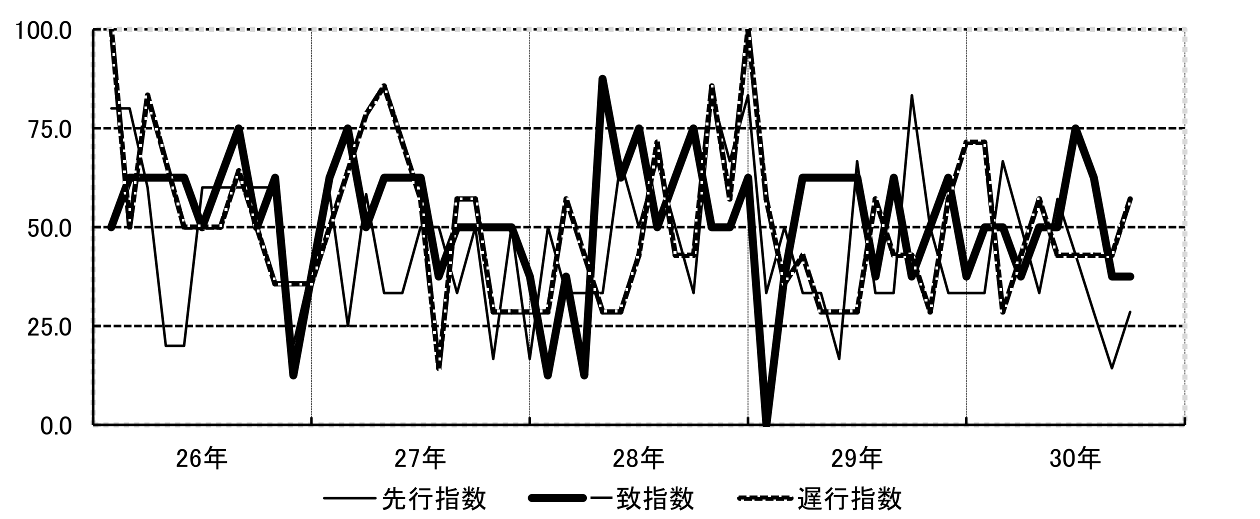
（注）各指数とも50％が景気の拡張期と後退期との境目とされる（-景気動向指数利用の手引き-参照）

② DIの推移

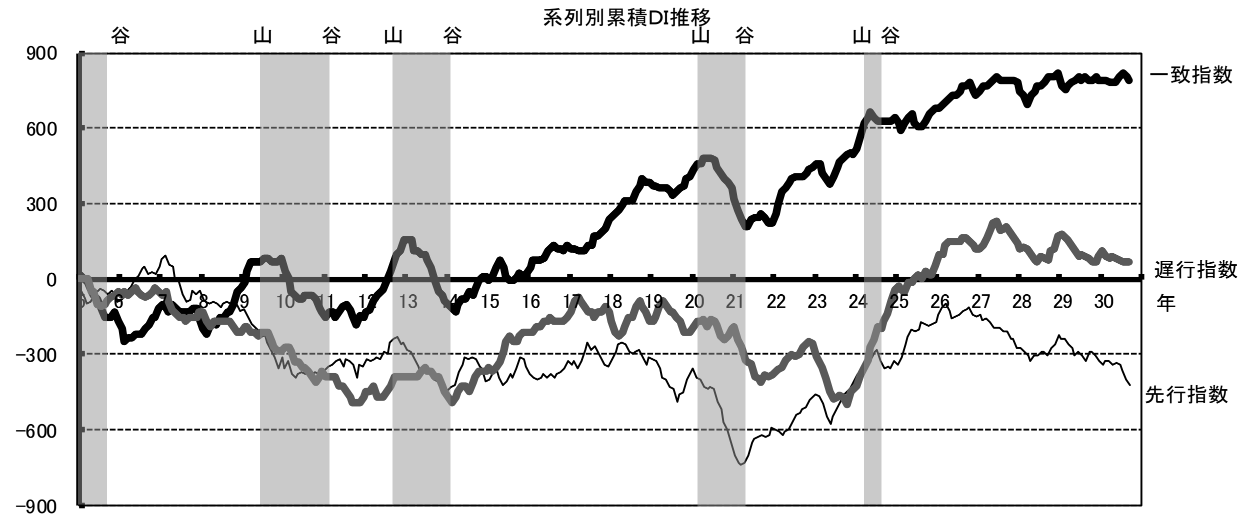
区　分	平成29年			平成30年								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先行指数（Ｄ．Ｉ）	50.0	33.3	33.3	33.3	66.7	50.0	33.3	57.1	42.9	28.6	14.3	28.6
一致指数（Ｄ．Ｉ）	50.0	62.5	37.5	50.0	50.0	37.5	50.0	50.0	75.0	62.5	37.5	37.5
遅行指数（Ｄ．Ｉ）	28.6	57.1	71.4	71.4	28.6	42.9	57.1	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1

注)DIは、先行(7指標)、一致(8指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



（参考）累積DIの推移（平成5年以降）



注1）累積指数は、基準月（平成5年1月）の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。
　累積DI(t)=累積DI(t−1)+(DI(t)−50)

注2）DI及び累積DIは景気の方向性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3）影の部分は国における景気後退期を示す。

–景気動向指数利用の手引き–

（１）景気動向指数の概要

○ 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すＣＩ（コンポジット・インデックス)と、景気の方向性を示すＤＩ（ディフュージョン・インデックス)の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。

○ ＣＩ、ＤＩはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の３種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

（２）ＣＩ（コンポジット・インデックス　Composite Index)の概要

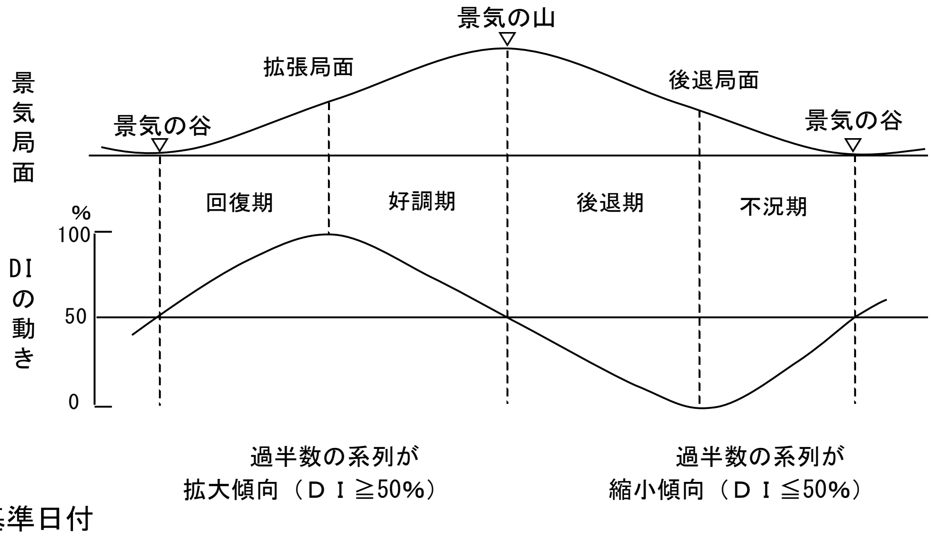
○ ＣＩは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のＣＩでは、大型小売店等販売額等８つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している(詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照)。

○ ＣＩの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。 景気の拡大期にはＣＩが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、ＣＩは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はＤＩを含めた総合的な指標によって判断する。

（３）ＤＩ（ディフュージョン・インデックス　Diffusion Index)の概要

○ ＤＩは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を３ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がＤＩとなる。 例えば、いわき市の一致指数では８つの指標を採用するため、そのうち３つが改善したならば３÷８＝0.375…（DI=37.5%)と計算する。

○ 一般に、50％を上回っているときが景気の拡張局面、50％を下回っているときが後退局面、50％を上から下に切るときが景気の山、50％を下から上に切るときが景気の谷とされる。



（４）景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、ＤＩの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷
第１循環		Ｓ26．6．	Ｓ26.10.
第２循環	Ｓ26.10.	29．1．	29.11.
第３循環	29.11.	32．6．	33．6．
第４循環	33．6．	36.12.	37.10.
第５循環	37.10.	39.10.	40.10.
第６循環	40.10.	45．7．	46.12.
第７循環	46.12.	48.11.	50．3．

区分	谷	山	谷
第８循環	Ｓ50．3．	Ｓ52．1．	Ｓ52.10.
第９循環	52.10.	55．2．	58．2．
第10循環	58．2．	60．6．	61.11.
第11循環	61.11.	Ｈ 3．2．	Ｈ 5.10.
第12循環	Ｈ 5.10.	9．5．	11．1．
第13循環	11．1．	12.11.	14.1.
第14循環	14.1.	20.2.	21.3.
第15循環	21.3.	24.3.	24.11.

（５）景気動向指数採用系列の概要

項　目			内　容	原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数（逆）	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 新規求人倍率	季	月間新規求人数／月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ﾊﾛｰﾜｰｸ平
	6 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	7 いわき景気ウォッチャー	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい（もしくは景気の転換点）の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	2 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ:福島県）
	3 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ:福島県）
	4 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ:福島県）
	5 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通関して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	6 有効求人倍率	季	月間有効求人数／月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ﾊﾛｰﾜｰｸ平
	7 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
	8 中小企業DI（全業種）	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合－減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい（もしくは景気の転換点）の水準。	福島県産業振興センター
遅行系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	3 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	4 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	5 雇用保険受給者実人員（逆）	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ﾊﾛｰﾜｰｸ平
	6 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	7 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課

注）季：X12Aによる季節調整値、前：原数値の前年同月比、原：（四半期）原数値、移：12ヵ月移動平均
　逆：景気の上昇期に減少（低下）し、下降期に増加（上昇）するもの。

【参考】 国･県の動き

1 経済･景気の動向

(1) 国の動向	（我が国経済の基調判断） 景気は、緩やかに回復している。 ・個人消費は、持ち直している。 ・設備投資は、増加している。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、緩やかに増加している。 ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。 ・雇用情勢は、着実に改善している。 ・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。 （内閣府「月例経済報告」平成30年11月公表分）
(2) 県の動向	県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。 ・個人消費……持ち直しの動きが続いている。 ・建設需要……増加の動きが弱まりつつある。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……雇用は改善が続いている。労働は緩やかな回復傾向がみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回る動きが続いている。 ・企業・金融……企業倒産件数及び負債総額はともに前年を上回った。預金残高は前年を下回ったが、貸出残高は前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」平成30年11月公表分)

2 景気動向指数（CI）

(1) 国の動向	9月のCI（速報値・平成 22(2010)年=100）は、先行指数：103.9、一致指数：114.6、遅行指数：119.8となった。 先行指数は、前月と比較して0.6ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.23ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.27ポイント下降し、4ヵ月連続の下降となった。 一致指数は、前月と比較して2.1ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.77ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.17ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。 遅行指数は、前月と比較して1.4ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.57ポイント上昇し、4ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.23ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」平成30年11月公表分)
(2) 県の動向	1 概 括 9月の景気動向指数（CI：コンポジット・インデックス、H22年=100）は、先行指数90.7ポイント、一致指数93.8ポイント、遅行指数99.9ポイントとなった。 先行指数は、前月（92.5ポイント）を1.8ポイント下回り、3ヵ月振りの下降となった。 一致指数は、前月（92.6ポイント）を1.2ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 遅行指数は、前月（98.0ポイント）を1.9ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 2 一致指数の動向 寄与度をみると、生産財出荷指数が3ヵ月連続のプラス、有効求人倍率、百貨店・スーパー販売額、建築着工床面積（鉱工業）が2ヵ月振りのプラスであった。 一方、鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数が3ヵ月振りのマイナス、雇用保険受給者実人員が2ヵ月振りのマイナス、所定外労働時間指数、手形交換金額（1枚当たり）が2ヵ月連続のマイナスであった。 内訳をみると、百貨店・スーパー販売額がプラス1.49ポイント、建築着工床面積（鉱工業）がプラス1.43ポイント、有効求人倍率がプラス0.57ポイント、生産財出荷指数が0.01ポイントで、これらの指標の動きが上昇に寄与した。 （福島県「福島県景気動向指数」平成30年11月公表分）

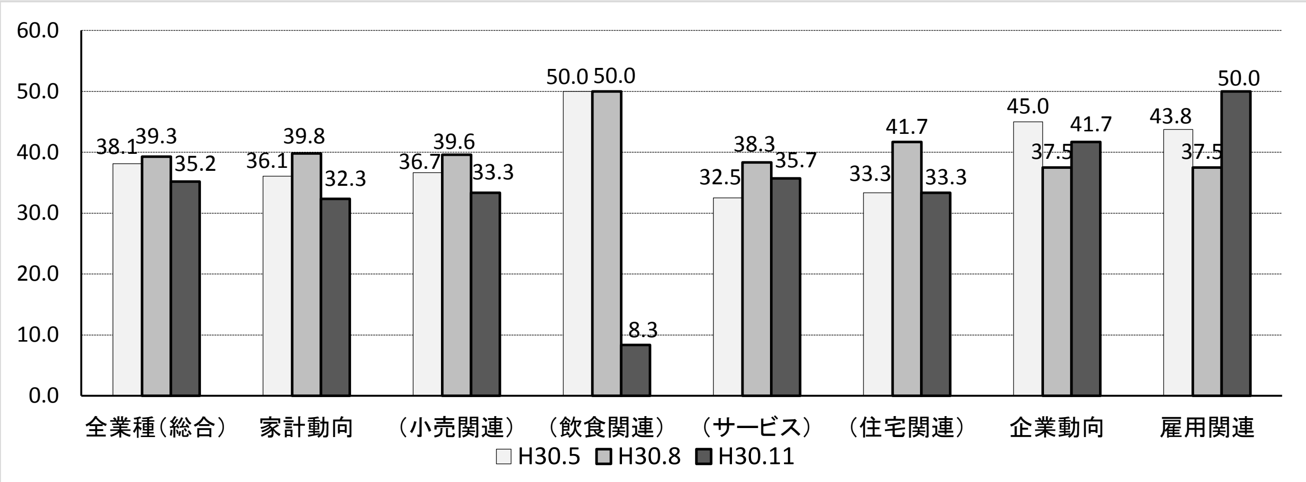
Ⅱ　いわき市景気ウォッチャー調査：平成30年11月時点

１　いわき市の景気の現状について

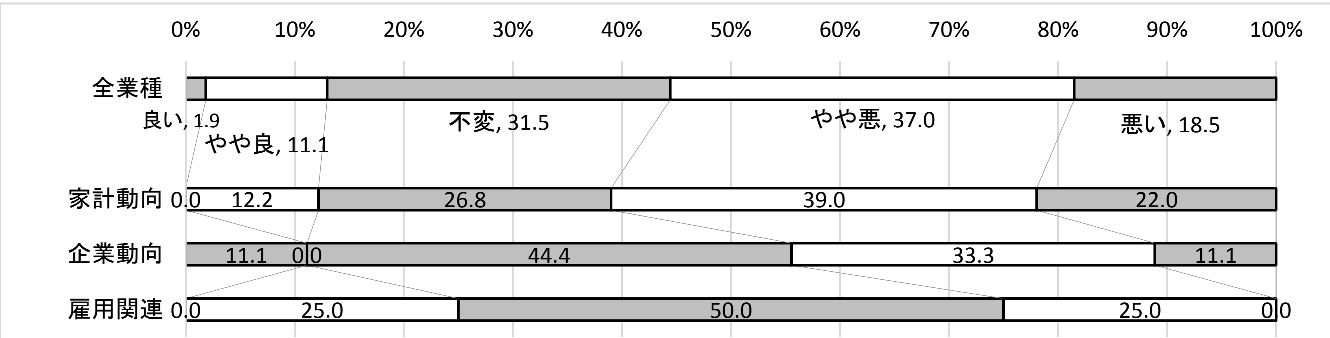
（１）現状判断DI

○ 全業種（総合）の現状判断DIは35.2となった。前回と比べると企業動向関連と雇用関連が上昇したものの、家計動向関連が低下したため、総合では前回より4.1ポイント低下した。

○ 主要業種別では、家計動向関連が32.3と前回より7.5ポイント低下した。家計の内訳では、小売33.3、飲食8.3、サービス35.7、住宅33.3とすべて低下した。一方、企業動向関連は41.7、雇用関連50.0と上昇した。



○ 回答内容をみると、全業種では、「良くなっている」が1.9%、「やや良くなっている」が11.1%、「変わらない」が31.5%、「やや悪くなっている」が37.0%、「悪くなっている」が18.5%となった。



（２）現状判断の理由

現状判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」「受注価格や販売価格」、雇用動向では「周辺企業の動き」が最も多かった。

項　目（家計）	良い	不変	悪い	合計
1.来客者数の動き	14	3	2	19
2.販売量の動き	5	1	0	6
3.単価の動き	0	0	2	2
4.お客様の様子	3	4	1	8
5.競争相手の様子	3	1	0	4
6.それ以外	0	2	0	2
合　計	25	11	5	41

項　目（企業）	良い	不変	悪い	合計
1.受注量や販売量	1	1	1	3
2.受注価格や販売価格	0	3	0	3
3.取引先の様子	2	0	0	2
4.競争相手の様子	1	0	0	1
5.それ以外	0	0	0	0
合計	4	4	1	9

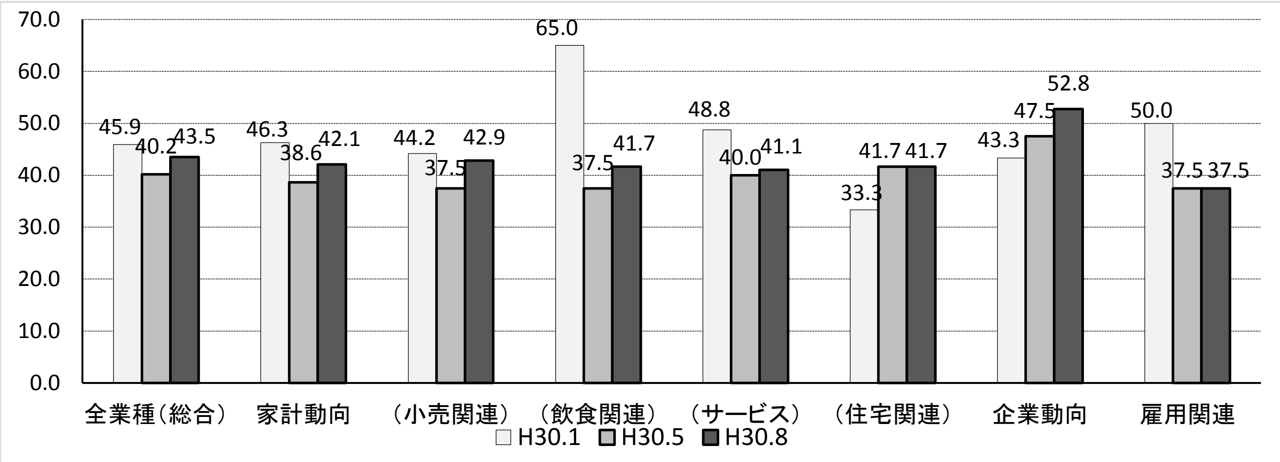
項　目（雇用）	良い	不変	悪い	合計
1.求人数の動き	0	0	0	0
2.求職者数の動き	0	0	0	0
3.採用者の動き	0	0	0	0
4.周辺企業の動き	1	2	0	3
5.それ以外	0	0	0	0
合計	1	2	0	3

２　いわき市の景気の先行きについて

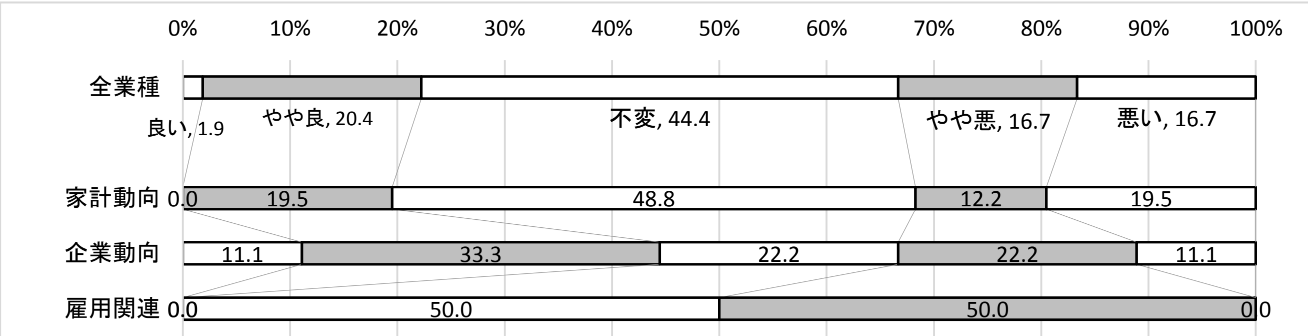
（１）先行判断DI

○ 全業種（総合）の先行判断DIは43.5であった。家計動向、企業動向の上昇により、前回より3.3ポイント上昇した。

○ 主要業種別では、家計動向関連が42.1と前回より3.5ポイント上昇した。家計の内訳で上昇しているのは、小売42.9、飲食41.7、サービス41.1、横ばいが住宅41.7であった。また、企業動向関連は52.8に上昇し、雇用関連は37.5で横ばいであった。



○ 回答内容をみると、全業種では、「良くなる」が1.9％、「やや良くなる」が20.4％、「変わらない」が44.4％、「やや悪くなっている」が16.7％、「悪くなっている」が16.7％となった。



（２）先行判断の理由

先行判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向関連では「周辺企業の動き」が最も多かった。

項　目（家計）	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	6	7	2	15
2. 販売量の動き	1	1	1	3
3. 単価の動き	0	1	1	2
4. お客様の様子	3	7	2	12
5. 競争相手の様子	2	3	0	5
6. それ以外	1	1	2	4
合　計	13	20	8	41

項　目(企業)	良い	不変	悪い	合計
1. 受注量や販売量	2	1	1	4
2. 受注価格や販売価格	0	0	1	1
3. 取引先の様子	1	1	1	3
4. 競争相手の様子	0	0	0	0
5. それ以外	0	0	0	0
合計	3	2	3	8

項　目（雇用）	良い	不変	悪い	合計
1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. 周辺企業の動き	1	1	0	2
5. それ以外	0	0	0	0
合計	1	2	0	3

３　アンケート自由意見欄にご記入頂いた市内景気に関するご意見等

（記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました）

（顧客・来客関連）

○ 駅前商店街のお店の減少、顧客の減少が著しい。

○ 昨年に比べ暖かいことが客足に影響している

○ 震災特需が一段落し、建設などの業界が徐々に悪化しているので、周辺を含む景気も悪化してきている様子がうかがえる。

○ 全市全体を見ても街（町）、商店街に客足がかなり少ない。この状況下で、消費税等が課税すればかなりのダメージになってしまうのではないか？

○ 来客数、入館者数が伸びない

○ 商業・飲食業の動きに注目している。

○ 斜陽産業であり、これ以上売上は見込めない。

○ 4K,8K関連の動きに注目している。

（競合関係等について）

○ 人口減少と高齢化により市場が縮小してる。オーバーストアの状況にある。

○ 復興需要も一段落し、特に建設業界の先行きが心配される。受注価格のダンピング等により下請け企業や弊社のような業者への低価格による発注が行われるような状況になる恐れがある。

（行政への要望等）

○ 行政にも、様々な取り組みをして頂いているが、今後とも先進的な取り組みをして頂けることを期待している。

○ 行政が誘致した大型店舗が6月に開店したが、地元商店（小売業・飲食も含めて）のなかには大打撃を受けているところが少なくない。震災からの復興のシンボルとのことだが、行政には、本当の意味で市民のためになる施策を考えていただきたい。

○ 震災以降、ネット社会や通販など消費の価値観が多様化するなか地元商店街の廃業が相次ぎ、空き店舗.空き地が目立ってきた。来街者も減少傾向。商店街再生のための成功した事例またご提案などを教えてほしい。

－景気ウォッチャー調査の概要－

（１）調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

（２）調査客体及び有効回答率

家計動向関連88人、企業動向関連24人、雇用関連10人の合計122人を調査客体とする。
今回（平成30年11月）の調査の回答数は54人（有効回答率44%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	88人	72%	41人	
小売関連	42人	34%	20人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	11人	9%	3人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	25人	20%	14人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	10人	8%	4人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	24人	20%	9人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	10人	8%	4人	人材派遣、職業紹介等
合　計	122人	100%	54人	

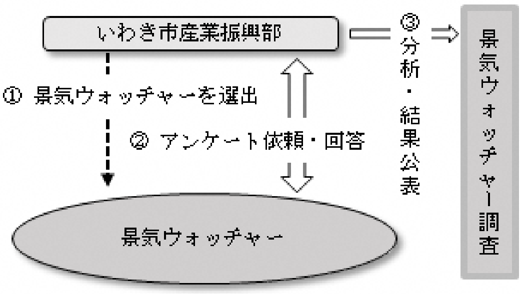
（３）調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。
1)　景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
2)　景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

（４）調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（㈱社会ｼｽﾃﾑﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ）が協力して行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。

いわき市景気ウォッチャー調査の流れ



（５）ＤＩの算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりＤＩを算出する。
ＤＩは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分						
回答区分	現状判断（3カ月前と比較）	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
回答区分	先行き判断（3か月後の見通し）	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

（６）いわき市景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（平成　年度第　回）

平成 30 年　　月　　日

ご回答者　景気ウォッチャーNo.　　　　　家計関係

ご所属・お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。

該当項目を１つだけ選択し、番号に〇をしてください。例：①　良くなっている。

【質問１】 今月の景気は**３ヵ月前と比べて、**良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ １つお答えください。	1　良くなっている 2　やや良くなっている 3　変わらない 4　やや悪くなっている 5　悪くなっている
【質問２】 質問１のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ １つお答えください。	1　来客数の動き 2　販売量の動き 3　単価の動き 4　お客様の様子 5　競争相手の様子 6　それ以外
【質問３】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 **２～３ヵ月先は、**今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。 １つお答えください。	1　良くなる 2　やや良くなる 3　変わらない 4　やや悪くなる 5　悪くなる
【質問４】 質問３のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ １つお答えください。	1　来客数の動き 2　販売量の動き 3　単価の動き 4　お客様の様子 5　競争相手の様子 6　それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問２、４について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。
　企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係	雇用関係
1　受注量や販売量の動き	1　求人数の動き
2　受注価格や販売価格の動き	2　求職者数の動き
3　取引先の様子	3　採用者の動き
4　競争相手の様子	4　周辺企業の動き
5　それ以外	5　それ以外

編集・発行　いわき市　産業振興部　産業創出課
〒970-8686　いわき市平字梅本21番地
電　話　０２４６－２２－１１２６（直通）
e-mail：sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp